

10月

ロジスティクス 強調月間2012

JILS創立 20周年

統一テーマ: サプライチェーン改革におけるロジスティクスの進化

関西物流改善事例 発表会2012 — 参加者募集 —

未来を切り開く ～現場力を極める～

徹底したコスト削減を実現した改善事例、お金をかけずに成果を得た改善事例などの優れた事例が11件発表されます。

会期 2012年10月25日(木) 10:00～17:45

会場 ヴィアーレ大阪
大阪市中央区安土町3-1-3

定員 220名

ロジスティクス強調月間2012 サポーター 一覧

企業

株式会社IH I	大和物流株式会社	株式会社ブリヂストン
アサヒビール株式会社	寺田倉庫株式会社	北王流通株式会社
株式会社岡村製作所	東芝ロジスティクス株式会社	ホンダロジコム株式会社
花王株式会社	東洋ビジネスエンジニアリング株式会社	三井倉庫株式会社
キムラユニティー株式会社	トヨタ自動車株式会社	三菱商事株式会社
麒麟ビール株式会社	株式会社豊田自動織機 トヨタL&Fカンパニー	三菱食品株式会社
国分株式会社	日本通運株式会社	三菱倉庫株式会社
サカタウエアハウス株式会社	日本トランスシティ株式会社	村田機械株式会社
佐川急便株式会社	株式会社日本能率協会コンサルティング	矢崎エナジーシステム株式会社
サンコーインダストリー株式会社	日本ロジテム株式会社	ヤマエ久野株式会社
サントリーホールディングス株式会社	株式会社PAL	吉川運輸株式会社
株式会社資生堂	フェデラル エクスプレス	リコーロジスティクス株式会社
株式会社住友倉庫	富士通株式会社	月刊マテリアルフロー
株式会社ダイフク	株式会社フジトランス コーポレーション	月刊ロジスティクス・ビジネス

大学

愛知学院大学 成蹊大学

▼開催にあたって

館野 克好

関西物流改善事例発表会2012 実行委員会 委員長
大和物流株式会社 代表取締役社長



昨年3月11日の東日本大震災、タイ国における大洪水ではサプライチェーンが分断したことにより、多くの産業の経済活動に多大な影響を及ぼし、物流・ロジスティクスにおいては、その社会的重要性が改めて認識されることとなりました。

わが国の経済環境は、少子高齢化に伴う国内市場の縮小や円高による生産・物流拠点の海外移転など、産業構造が大きく変化しており、サプライチェーンの全体最適化を図る物流・ロジスティクスの担う役割は益々重要になっております。

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会(JILS)は、本年創立20周年を迎え、「ロジスティクスコンセプト2020」を発表いたしました。

2020年のロジスティクスのあるべき姿の実現に向けて具体的な方策を提示し、強力で推進することを期待いたします。

また、JILSは創立以来毎年10月を「ロジスティクス強調月間」として定め、東京、名古屋、大阪、福岡でロジスティクスの啓発や普及を行う活動を展開しております。

本年度は「サプライチェーン改革におけるロジスティクスの進化」を統一テーマとして、44機関のサポートのもとに活動を実施いたします。

JILS関西支部におきましては、SCMを効果的に機能させるために重要な役割を担っている物流現場の改善活動に焦点を当て、日本ロジスティクス研究会関西支部との共催による「関西物流改善事例発表会2012」を開催いたします。

本発表会では、「未来を切り開く～現場力を極める～」をテーマに、人時生産性や作業効率の向上、コスト削減や環境負荷低減などに大きな成果をあげた11件の優秀企業事例を発表いただきます。

今回は、JILS関西支部のJILS創立20周年記念事業として開催すると共に、記念講演の講師としてトヨタ生産方式の創始者である大野耐一氏に師事したPEC産業教育センター 所長 山田 日登志氏をお迎えし、「ムダに気付けば改善が変わる」をテーマに、記念講演いただきます。

本発表会は、物流現場における課題発見の切り口や、改善ノウハウなどのヒントを得られる機会であると共に、異業種の方々との情報交流の場であり、物流現場改善に携わる皆様の視野を広げる最良の場になるものと確信いたしております。

JILS創立20周年記念の関西支部事業として開催する本発表会に積極的にご参加いただきますようよろしくお願い申し上げます。



日本ロジスティクス研究会は、公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会およびその前身の団体の下で養成された、物流スペシャリストである「物流技術管理士」「国際物流管理士」「物流管理士」「物流士」「物流現場改善士」による組織です。わが国唯一の物流スペシャリスト資格者による交流組織で、会員の相互研鑽ならびに物流に関する知識と技術の向上を図ると共に、関連諸機関と連携して物流の合理化を推進することを目的としています。

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会では、物流の現場力の強化を目的に「物流現場改善推進のための手引書(改訂版)」を作成いたしました。詳細およびダウンロードは、『物流現場改善推進』で検索し、協会HPまでアクセスしてください。

関西物流改善事例発表会2012 ー 参加者募集 ー

▼ プログラム

10:00	開会挨拶 関西物流改善事例発表会2012 実行委員会 委員長 舘野 克好 氏 大和物流株式会社 代表取締役社長
10:10	これからのロジスティクスのあるべき姿 「ロジスティクスコンセプト2020」 公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 専務理事 徳田 雅人
10:30	事例発表 1 [スーパーマーケット向け店別出荷を行うピック棚の補充改善・工数削減による生産性向上] アドバンスト・ロジスティクス・ソリューションズ株式会社 堺事務所 門馬 徹 氏 酒・加工食品・菓子などを取り扱うスーパーマーケット向けD/C型物流センターにおいて、ピック棚補充作業の改善、工数削減等により生産性を向上した事例である。多層階センターで、工数比が全体の75%を占める二階に着目し、その内70%を割いている一斉補充作業に絞って改善を行い ①補充工数削減17% ②生産性向上23% ③リザーブ間口増設29% という成果をあげた。
10:55	事例発表 2 [飲料水の物流業務における輸送円滑化とピッキングコスト低減への挑戦 ～稼働分析(ワークサンプリング)手法を用いて～] コカ・コーラウエストロジスティクス株式会社 中国支店 本郷LC 担当課長 西田 敏代 氏 稼働分析手法を取入れ、輸送車両の構内入場のタイミングをコントロールし、輸送車両の滞留率(総入場車両台数に対する滞留車両台数割合)を1.9%(年間816台)削減。また、製品(清涼飲料水)の輸送車両への積込場所を見直し、フォークリフトの空走行割合を削減することにより、お得意さまへお届けする製品1ケースあたりのピッキング業務委託コストの、21.6%低減に成功した。
11:20	事例発表 3 [バラ出庫業務における庫内破損の削減 ～全員参加による作業品質向上] 株式会社ティーエルエス オペレーション部 係長 馬谷 潤二 氏 大手文具会社の通販事業を請け負うセンターにおいて、汚破損の原因調査・分析～改善対策の策定・実施(一次改善・二次改善)を行なった。特に商品特性に応じた保管方法に重点的な改善を加えた結果、破損件数で約80%、破損ロス金額で約81%の削減を実現することができた。また附帯効果として、破損商品処理工数を約79%削減にも成功した。
11:45	事例発表 4 [食品の小分け集荷における生産性の向上] 国分株式会社 リーダー 小柳 大介 氏 / 兵庫トランスポート株式会社 リーダー 大上 恭央 氏 物流センターの再構築に伴い、食品の小分け集荷方法をDPS(デジタルピッキングシステム)から、HHT(ハンディターミナル)による手集荷へと変更。作業変更時による生産性目標135ロット/時に対し、稼働当初の生産性は80.5ロット/時と著しく低い状態であったため、生産性の向上を図った。事前準備の徹底・庫内清掃・作業動線の変更を行い、生産性を136.4ロット/時まで向上し、目標を達成した。
12:10	昼 食 休 憩
13:10	事例発表 5 [化学品物流子会社における船舶の省エネルギー活動] 東ソー物流株式会社 効率推進室 主任 藤井 存往 氏 <第91期 物流技術管理士> 当社の輸送数量60%を占める船舶の省エネルギー活動に取り組んだ事例である。船団31隻の燃料管理データの見える化を実施。また、ハード面の対策として省エネ技術の実船適用と運航条件の設定、及びソフト面の対策として潮・海流を利用した運航・オペレーションの開発と展開を図った。その結果、活動前対比10%以上の燃費改善を達成した。
13:35	事例発表 6 [入出庫作業の見える化による生産性向上] 株式会社サンリツ 現場リーダー 鎌田 高広 氏 / 斎藤 美加 氏 医療機器製品の出入庫業務において、作業の進捗状況を把握できる工程毎のパネルを作成し作業工程の見える化を行った。また、作業者の配置が瞬時に確認できるよう作業配置図を設置し、作業者の手待ち時間の削減に成功した。その結果、約4h/日の削減効果があった。
14:00	事例発表 7 [文具・事務用品の物流センターにおける梱包作業工数削減の取り組み] ユニテック株式会社 統括リーダー 北村 宏明 氏 文具・事務用品における梱包用ダンボールケースの保管方法を見直し、補充負荷を軽減した。また、空のオリコンを返却する際、返却場所が作業場から離れているため無駄な歩行が発生していたが、マテハンソーターを使用することで定位置作業を実現。これらの改善の積み重ねにより、トータル8H/日の工数削減に成功した。
14:25	事例発表 8 [加賀麩の流通加工業務の生産性向上 (荷量増に対応するための作業方法の改善による生産性の向上)] 株式会社エヌ・ティ・ティロジスコサービス 金沢物流センタ 社員 中田 さゆり 氏 加賀麩は中元・歳暮商品であり、短期間に予定のセット数を出荷しなければならない季節波動の大きい商品である。いかに無駄のない作業により出荷数の安定化を図り、且つ、追加オーダーにも即対応できるかがポイントである。そこで、トヨタ生産方式を導入し、作業方法の標準化等により省人化を実現させた。その結果、生産性が20%向上した。
14:50	
15:00	休 憩

未来を切り開く ～現場力を極める～

15:00

事例発表 9 [場内作業の作業効率向上による積込時間の短縮]

大和物流株式会社 奈良支店 次長 平野 嘉之氏

■ ハウスメーカーの工場における建築資材の積込・現場配送を行っている。
積込時間の削減20%を目標に、レイアウト改善・情報の共有化・ラックの活用・荷姿改善を行い、目標を大幅に超える成果を得た。

15:25

事例発表 10 [ならコープ物流現場における設備導入なき3S推進・生産性別ライン編成の挑戦]

株式会社CWS 物流事業グループ マネジャー 島谷 俊行氏

■ ならコープの個人宅配等を請け負うセンターにおいて、トップダウンによる3S活動を行った。この活動が現場社員からアルバイトに至るまでの自発的な改善活動へと進化し、3S活動が生産性・品質向上につながることを実証できた。その結果、トータル10H/日の工数削減・ピックミス率10%の低減を達成。さらに生産性別ライン編成に向けた取り組みにつき、進行中である。

15:50

事例発表 11 [ABC分析による棚レイアウトの改善 ～高頻度・低頻度区分け～]

ワコール流通株式会社 流通2課 主任 池田 直人氏

■ 出庫頻度を考慮したレイアウトになっていない為、出庫低頻度の商品棚前を通りながら遠くの高頻度商品を取りに行くピッキング動線になり、多くのロスが発生していた。この状況を改善する為、当社システムの出庫頻度一覧表をもとに高頻度商品棚と低頻度商品棚の区分けを実施した。その結果、出庫作業動線を削減し、出庫効率前年比121%、コスト削減約280万円(年間)を削減できた。

16:15

各発表者に記念品贈呈

休 憩

16:40

JILS創立20周年 記念講演

『ムダに気づけば経営が変わる』

PEC産業教育センター 所長 山田 日登志氏



1963年南山大学文学部卒業後、中部新聞社、1965年岐阜県生産性本部経営コンサルタントを経て1978年に第一線監督者の研修道場PEC産業教育センターを設立。トヨタ生産方式の創始者、故・大野 耐一氏に1971年から師事し、センター設立以来の講座には、すでに10,000名が修了。

(財)日本生産性本部「トヨタ生産方式、工場経営」各講座の講師、名古屋工業大学、人間環境大学の講師も兼ねた。トヨタ生産方式を300余社に導入、KOA(株)、ミツミ電機(株)の体質強化や(株)LIXIL(旧トステム(株))、ソニー(株)、NEC(株)、キヤノン(株)、スタンレー電気(株)、三洋電機(株)への指導にもあたる。

ムダとりの考え方は2001年5月NHKスペシャル「常識の壁を打ち破れ」として紹介され、またNHK「プロフェッショナル～仕事の流儀～」や「ニュースウォッチ9」、テレビ東京「ガイアの夜明け」にも出演。その現場改善手法は幅広く紹介された。

【著書】

「トヨタ生産方式と作業改善実践トレーナー実践マニュアル」(日本生産性本部)、「トヨタ生産方式をトコトコ理解する事典」(日刊工業新聞社)、「ズバリ現場のムダどり事典」(日刊工業新聞社)、「実践JIT生産システム」(日刊工業新聞社)、「改善魂を求めて」(日刊工業新聞社)、「常識破りのものづくり」(NHK出版)、「ムダとり」(ウェッジ)、「自分で考える社員のつくり方」(PHP研究所)、「改善魂の叫び」(日刊工業新聞社)

【ビデオ】

PHPビデオセミナー
「セル生産」実現のポイント(PHP研究所)

【DVD】

山田 日登志「カイゼン」(日経BP社)
山田 日登志「ムダとり」(日経BP社)

PROFILE

17:40

閉会挨拶 関西物流改善事例発表会2012 実行委員会

篠原 和豊氏 日本ロジスティクス研究会 関西支部 支部長

17:45



▼ 開催概要

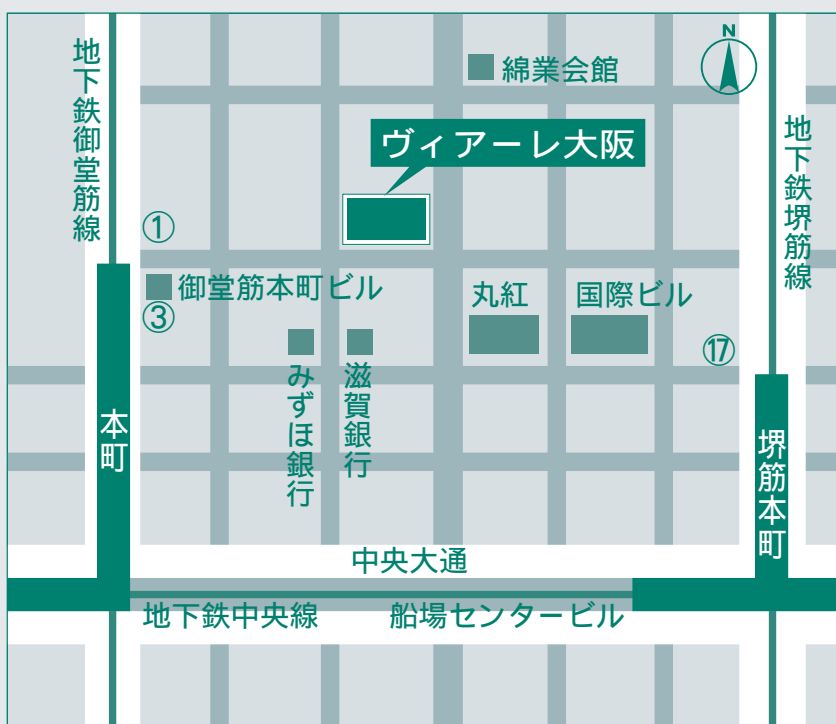
名称	関西物流改善事例発表会2012
目的	物流現場の改善事例を広く募集し、その発表を通じて、物流業務における顧客サービスや品質、生産性の向上、省エネ対策や3Rの推進、CO ₂ や廃棄物の削減など、物流効率化や環境負荷軽減活動の推進に資することを目的とする。 また、JILS創立20周年を迎え、より一層、改善活動の重要性を産業界に対し訴求し、物流における改善活動を普及するため、関西支部の記念事業として開催する。
統一テーマ	『未来を切り開く ～現場力を極める～』
会期	2012年10月25日(木)
会場	ヴィアーレ大阪 大阪市中央区安土町3-1-3 TEL.06-4705-2411
主催	公益社団法人 日本ロジスティクスシステム協会 日本ロジスティクス研究会 関西支部
企画運営	関西物流改善事例発表会2012 実行委員会
事務局	公益社団法人 日本ロジスティクスシステム協会 関西支部 〒530-0001 大阪市北区梅田2-2-22 ハービスENTオフィスタワー19F TEL.06-4797-2070 FAX.06-4797-2071

▼ 実行委員会 委員一覧

委員長	館野 克好	大和物流(株) 代表取締役社長
委員	青木 昌司	(株)エスプール ロジスティクス事業部 事業部長
〃	池田 千城	(株)クボタ 品質・モノづくり本部 モノづくり統括部 基礎グループ 物流チーム長
〃	井上 謙二	ダイキン工業(株) 物流本部 物流改革専任部長
〃	小川 隆	(株)関西丸和ロジスティクス 営業部
〃	陰平 康則	生活協同組合コープこうべ 物流部 統括部長
〃	木村 仁一	日本ロジスティクス研究会 関西支部 支部委員
〃	佐久間 慎二	JILSアドバイザー (元トヨタ部品大阪共販(株) 常務取締役)
〃	澤田 誠一	オムロン住倉ロジスティック(株) 管理統括部長
〃	篠原 和豊	日本ロジスティクス研究会 関西支部 支部長
〃	西谷 秀樹	日本通運(株) 常務理事 関西営業部長
〃	羽藤 眞弘	大和物流(株) 取締役 海外物流事業部長 兼 環境エネルギー物流事業部長
〃	前谷 恭司	シャープ(株) 物流推進センター所長
〃	正木 博	佐川グローバルロジスティクス(株) 大阪支店 支店長
〃	水田 勉	ダイセル物流(株) 安全品質保証部 部長
〃	望月 彰	(株)間口 人事部 次長
〃	森本 康司	センコー(株) 取締役 執行役員 安全品質環境担当

(敬称略・順不同)

▼ 会場案内



ヴィアーレ大阪

〒541-0052 大阪市中央区安土町3-1-3
TEL.06-4705-2411

【交通案内】

- ◆ 地下鉄御堂筋線本町駅(①・③番出口)より徒歩3分
- ◆ 地下鉄堺筋線堺筋本町駅(⑰番出口)より徒歩5分

【参加申込規定】

参加料規定

※下記金額には消費税が含まれております。

	参加料	1社から3名以上参加の場合 (3名様以降の参加料)
日本ロジスティクスシステム協会 会員 日本ロジスティクス研究会 会員	13,650円/1名	8,400円/1名
上記会員外	22,050円/1名	17,850円/1名

※上記料金には、テキスト代が含まれています。
※1社から3名以上参加の場合は、一括でお申し込みください。

有資格者優待 (フォローアッププログラム)

当協会では、有資格者のためのフォローアッププログラムを実施しております。本プログラムは、当協会主催の講座で習得した知識をより深め実践の場で活用できる能力を身につけたいという、有資格者からの強い希望を受けて、当協会認定の資格[※]をお持ちの方に、当協会主催のプログラムを優待料金にてご提供するものです。実践力の強化、最新の情報収集の場として、ぜひご活用ください。

◇フォローアッププログラム 参加料 (消費税込)……………8,400円

(注)フォローアッププログラムにお申し込み後、参加者が資格をお持ちでない方に変更になった場合は、参加料の差額を請求させていただきます。あらかじめご了承ください。

申込欄の該当保有資格にチェックをしてください。
※ロジスティクス経営士(経営)、国際物流管理士(国際)、
グリーンロジスティクス管理士(グリーン)、物流技術管理士(物流)、
物流現場改善士(改善)

参加定員

220名 (定員になり次第、締め切らせていただきます。)

- 先着順に受付ます。
- 開催間近のお申し込みは、定員に余裕のあるときのみ当日受付も行いますので、事前に事務局に確認のうえ直接会場の受付へ申込書(又は名刺)をご持参ください。後日、請求書を送付いたします。

ご注意

- 録音機の持ち込みはご遠慮ください。
- テキストは会場でお渡しします。テキストのみの販売はいたしておりません。

参加申込締切日

2012年10月24日(水)

参加申込方法

- ①申込書に必要事項をご記入のうえ、ファックスでお送りください。
- ②「参加証」と「請求書」は、参加者の方へ開催日の約1週間前までにお送りいたします。お手元に届かない場合は、ご連絡をお願いいたします。
- ③参加料は開催前日までに請求書の銀行口座へお振り込みください。開催後のお振り込みの場合は、申込書の「支払予定日」欄に必ずご記入ください。
- ④振込手数料はお客様にどうぞ負担願います。
- ⑤参加予定の方が都合が悪い場合は、代理の方がご出席ください。代理の方も都合がつかない場合は、下記によりキャンセル料を申し受けますので、ご了承ください。
開催7日前～前々日(開催日を含まず計算)……参加料(消費税を除く)の30%
開催前日および当日……………参加料(原則として消費税を除く)の全額
(注)キャンセルは、ファックスでの連絡のみ申し受けます。

個人情報のお取り扱いについて

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会では、個人情報の保護に努めております。詳細は、当協会のプライバシーポリシー(<http://www.logistics.or.jp/privacy.pdf>)をご覧ください。なお、ご記入いただきましたお客様の個人情報は、本セミナーに関する確認・連絡・受講者名簿の作成および当協会主催の関連催し物のご案内にお送りする際に利用させていただきます。

参加申込先・プログラム内容の問い合わせ先

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 関西支部
〒530-0001 大阪市北区梅田2-2-22 ハービスENTオフィスタワー19F
TEL 06-4797-2070 FAX 06-4797-2071

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会正会員制度

会員外の方は、この機会にぜひ、当協会会員の入会をご検討ください。
【問い合わせ先】公益社団法人 日本ロジスティクスシステム協会 関西支部
TEL 06-4797-2070 FAX 06-4797-2071

【参加申込書】

関西物流改善事例発表会2012		開催期日 2012年10月25日(木)		参加料支払窓口 (※必ずご記入下さいませよう願いたします)		
フリガナ 会社・ 事業所名		<input type="checkbox"/> JILS 会員・ 日本ロジスティクス研究会 会員 <input type="checkbox"/> 会員 外		部門名	TEL () -	
				担当者名	FAX () -	
				支払予定日	月	日 払
参 加 者	フリガナ 氏名 1	役職名		TEL () -		
	所在地	〒 - 都道府県		FAX () -		
	保有資格	<input type="checkbox"/> 経営 <input type="checkbox"/> 国際 <input type="checkbox"/> グリーン <input type="checkbox"/> 物流 <input type="checkbox"/> 改善 ◆取得期 期		E-mail :		
	フリガナ 氏名 2	役職名		TEL () -		
	所在地	〒 - 都道府県		FAX () -		
	保有資格	<input type="checkbox"/> 経営 <input type="checkbox"/> 国際 <input type="checkbox"/> グリーン <input type="checkbox"/> 物流 <input type="checkbox"/> 改善 ◆取得期 期		E-mail :		
	フリガナ 氏名 3	役職名		TEL () -		
	所在地	〒 - 都道府県		FAX () -		
	保有資格	<input type="checkbox"/> 経営 <input type="checkbox"/> 国際 <input type="checkbox"/> グリーン <input type="checkbox"/> 物流 <input type="checkbox"/> 改善 ◆取得期 期		E-mail :		
	フリガナ 氏名 4	役職名		TEL () -		
	所在地	〒 - 都道府県		FAX () -		
	保有資格	<input type="checkbox"/> 経営 <input type="checkbox"/> 国際 <input type="checkbox"/> グリーン <input type="checkbox"/> 物流 <input type="checkbox"/> 改善 ◆取得期 期		E-mail :		
参加料合計	名 円		KA-1237	参加申込用 FAX.06-4797-2071		
協会への連絡事項						

※お願い：参加証・請求書(原則として合計金額)を参加者最上段(氏名1)の方にお送りいたします。それ以外をご希望の方は、協会への連絡事項欄にご指示ください。